

## モニタリング担当者会議シナリオ

### 【登場人物 7名】

本人 (米田 誉)  
母 (米田 ひかる)  
相談支援専門員 (藤山)  
B型サビ管 (川瀬)  
B型支援員 (三口)  
GHサビ管 (松嶋)  
GH世話人 (野口)

### 【経緯】 講師から説明(スライド有)

約半年が経過し、相談支援専門員がサービス等利用計画のモニタリングのため、各事業所の聞き取りをした。スマイルでは、順調に作業内容を覚えて安定して通うことができるようになっていたが、カフェ作業で複数のことをするようになってから、確認する行動が増えてきた。また、ゆのまちハウスでは、生活リズムや雰囲気にも慣れて他の利用者と話す場面が増えてきた。ただ、2週間ほど前から朝の準備に時間がかかって遅れそうになることや通所を拒む発言が出てきた。そして、ここ3日ほどスマイルを休んでいるという状況を確認したため、モニタリングも兼ねて担当者会議を開催することとなった。

相談支援専門員(藤山):本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。誉さんがサービスを利用してから6ヶ月が経過したので、みなさんと今の状況を共有して、今後について考えていければ…と思います。

誉さん、ゆのまちハウスさんとスマイルさんを利用して6ヶ月が経ちましたが、体調はどうですか？

本人(誉):はい…大丈夫です…

相談支援専門員(藤山):よかったです。では、お母さん、今日は来て頂いてありがとうございます。この半年、誉さんとは何度か会われましたか？

母親(ひかる):はい、何度か会っています。

相談支援専門員(藤山):誉さんのこの半年間のご様子、どう感じておられますか？

母親(ひかる):はい。自宅から離れての生活ということで、やはり親としてはとても心配していました。でも、週末に帰ってきたときは、自宅で過ごしていた頃よりもいい顔をしているので、今の生活に満足しているんだなと感じます。時々、スマイルさんやゆのまちハウスさんで頑張

っていることも話してくれるので、嬉しく思っています。今までは、家族…特に私がうるさいくらいに色々言うてしまうことが多かったので…。

相談支援専門員(藤山):ありがとうございます。お母さんからは、以前に比べて誉さんが前向きに頑張っているというお話でしたが、まずゆのまちハウスさんでのご様子をお聞きしてもよろしいですか？

GH サビ管(松嶋):はい。こちらでの生活もだいぶ慣れて、他の利用者さんとも笑顔で話されています。誉さんと同じアニメがお好きな方もいて、お二人で見ていることもあります。家事などは、最初は覚えるのに少し時間がかかりましたが、一通り覚えることができています。少し不完全なところはありますが、職員と一緒に確認しながら取り組まれています。洗濯機などの操作は写真付きの手順書があると覚えやすいようですし、今後もうまく活用していけると良いなと思っています。誉さん、ゆのまちハウスでの生活はどのようなですか？

本人(誉):仲良くできる人もいて、いいです。

相談支援専門員(藤山):ありがとうございます。家から離れた場所での新しい生活は不安もあったかと思いますが、楽しく生活ができていて本当によかったです。次は、スマイルさんのご様子をお聞かせください。

B 型サビ管(川瀬):はい。ご利用前はしばらくご自宅で過ごされていたので、不規則な生活リズムや体力が心配でしたが、休まれることなく通われています。最初は道を覚えるために送迎をしていましたが、3ヶ月後には道も覚えて自転車で通われています。一度工事で道が通れないことがあったのですが、事前に違う道をお伝えすることで問題なく通所されていました。作業については、面談で誉さんのご希望をお聞きして、軽作業とカフェ作業の皿洗いを中心に取り組んでいきました。軽作業では5つある工程の組み立て作業で、最初はやり方が分からない工程もありましたが、今では手順書を見て一人で取り組まれています。皿洗いでは、アルバイトでもやっていたということで慣れたご様子で問題なく取り組まれています。両方とも、2時間程度は集中して作業を続けています。また、面談でも何度も伝えてくださった「怒られたくない」という部分についてですが、「分からないことを聞いたり、困った時に相談することができる」を目標にしてきました。詳しい様子については、三口からお伝えさせていただきます。

B 型支援員(三口):はい、まず「分からないことを聞く」という部分ですが、職員が誉さんの表情などのご様子を見てお声掛けすると「合ってますか？」と伝えてくださることが多かったです。なので、まだ「分からないことを聞く」というよりも「合っているかを確認する」という段階かなと思います。また、職員が誉さんのご様子に毎回気づくのは難しいので、誉さんから職員を呼べるといいなと思いますが、誉さんいかがでしょう？

本人(誉):自分から言うのは、難しい。でも、怒られないから、いいです。

B 型支援員(三口):誉さん、頑張っておられるので大丈夫ですよ。これからは、少しずつ「自分から伝える」ことを練習していけるといいですね。

相談支援専門員(藤山):ありがとうございます。「困った時に相談をする」といったところはどうですか？

B 型サビ管(川瀬):はい。まずは、作業後に振り返りの時間を作りました。この半年間では、誉さんからのご相談はなかったのですが、困ったことがあったのか、あっても言えなかったのかは…、分からない状況です。

GH 世話人(野口):すみません…「困ったことの相談」という点で、ホームでのご様子をお伝えしてもいいですか？

相談支援専門員(藤山):はい、お願いします。

GH 世話人(野口):ホームでも困っておられるご様子がありました。その時は、私とリビングで過ごしているときの何気ない会話から、「洗濯機を使いたい時に●●さんの服が入っているけど、言えなくて困っている」というお気持ちをお聞きしました。ホームでも面談のときは「大丈夫です」と言うことが多かったので、かしくまった感じだと緊張してしまうのかもしれないです。何かを一緒にしているときとか、何気ない会話のなかでお聞きする方が話しやすいのかなと感じていますが、誉さん、どうですか？

本人(誉):反応

母親(ひかる):誉にとって1対1で話す場は、学校でも前の職場でも嫌な思い出があるのかもしれないです。呼び出されたときには注意されることが多かったみたいなので…。誉、どう？

本人(誉):うん…怒られたことを思い出して緊張する…。

GH 世話人(野口):ホームでは、一緒にお皿を洗っている時とかテレビを見ているときの方が色々話をしてくれるので、私はそんな感じで話を聞かせてもらっています。

B 型サビ管(川瀬):そうなんです、ありがとうございます！

スマイルでは、他の方も面談という形でお話を聞くことが多いのでそうしていました。でも、ホ

ームでのご様子をお聞きすると、スマイルではレクリエーションとか休憩の時などにお聞きする方が良いのかなと思いました。ありがとうございます。

ちなみに、毎日の作業日誌は嫌じゃないですか？あの、チェックしてる日誌です。

本人(誉):う、うん…。作業日誌はチェックするだけなので大丈夫です。

B 型サビ管(川瀬):ありがとうございます。

相談支援専門員(藤山):よかったです。確かに、誉さんにとっては面談という形よりも普段の会話のなかでの方が話しやすいのかもしれないですね。作業日誌は負担なく書けているということなので、そこに相談のきっかけになる項目があるとどうでしょう？

本人(誉):書けるか、分かりません…。

B 型サビ管(川瀬):最初に誉さんから「書くのは苦手」というお話をお聞きしていたので書くことには取り組んでいませんでした。でも、作業日誌ではチェックすることができていて、さきほど誉さんも「大丈夫」と言われていたので、相談したいことがあるかないかなどをチェックしたり、相談したい内容をチェックリストにしてみてもどうかと思いました。誉さん、どうでしょう？

本人(誉):う、うん…。作業日誌と同じならできると思います。

B 型サビ管(川瀬):それなら、一緒にチェック項目を考えましょう。

本人(誉):はい。

相談支援専門員(藤山):ありがとうございます。いろいろお話をお聞きして、状況の共有ができてきましたが、他に何かある方いらっしゃいますか？

GH サビ管(松嶋):よろしいでしょうか？最近、朝の準備に時間がかかるが増えてきて、準備の声掛けをすると浮かない表情で玄関を出るまでに時間がかかるようになっていきます。どうしたのかな？と気にしながら様子を見ていたのですが、一昨日からは、体調不良で休みたいとおっしゃるのでお休みしています。ホームでは食欲もあり、そこまで体調が悪いようでもなくて…。誉さん、なにかありましたか？

本人(誉):うーん…

GH サビ管(松嶋):スマイルさんで、なにかあったんでしょうか？

B 型サビ管(川瀬):実は、スマイルでもここ最近は今まで一人で取り組まれていた軽作業などでも職員に確認することが増えてきています。その時期がカフェ作業の接客を始めた頃だったので、それが関係しているのかも…と考えているのですが…。誉さん、どうですか？

本人(誉):反応

母親(ひかる):誉、スマイルさん休んでたの？すみません…。この子は、学校のと時から、嫌なことがあると朝の準備にすごく時間がかかるようになって行きたがらなくなることがありました。誉、スマイルさんのお仕事が嫌になったの？

本人(誉):う…うん…

母親(ひかる);何があったの？はっきり言わないと分かんよ！

本人(誉):うーん…、いろいろいっぺんにはできない。できないと怒られるから…、行きたくないです。休んでごめんなさい…。

B 型サビ管(川瀬):いえいえ、お気持ちを聞かせてくれてありがとうございます。カフェ作業の接客をやるようになったのが原因でしょうか？

本人(誉):はい…

母親(ひかる):でも、皿洗いだけじゃなくて、臨機応変にいろんなことができるようになった方がいいんじゃない？そのためにスマイルさんで練習してるんじゃないの？

本人(誉):うん…

B 型支援員(三口):よろしいですか？誉さんのこの半年のお仕事ぶりを見ているなかで、軽作業とか皿洗いはお任せできるくらいしっかり取り組まれています。誉さんの得意なところを活かせるように仕事内容を絞るといいのかなと思ったのですが…。

GH サビ管(松嶋):すみません、グループホームからもいいですか？掃除など1人でやる家事はしっかり覚えて取り組まれているので、一人でじっくりとする仕事とかは向いているんじゃないかなと思います。

GH 世話人(野口):私からも少しいいですか?ちょっと話は変わるのですが、ホームで仲良くされている方が来月から一人暮らしを始めることになりました。その話や準備をしているご様子を見て、つい先日誉さんから「僕も、一人暮らしできますか?」「どうやったら、できますか?」という質問がありました。その話のなかで一人暮らしをするとお金がかかるという話題にもなり、以前よりも「就職」に前向きなご様子が出てきたのかなと思います。誉さん、どうでしょう?

本人(誉):はい、やっぱりうらやましいです。

GH サビ管(松嶋):ホームでも、よほど疲れているとき以外はご自分で家事をされていますし、以前に比べると働くことにも前向きになっているな…というのを感じています。なので、この半年間で少しずつ自信がついてきたのかな?とも思います。家事でも「臨機応変」は難しいのですが、手順書があると…例えば「洗濯をしている間に掃除をする」ようなことはできるようになるかなと思いますし、サポートがあるなかで新しいことへのチャレンジもできてきていると思います。誉さんの強みは「一度覚えたことは確実にする」ことだと感じていますので、得意なことを活かしながら働くという方向は今の誉さんに合っているのかなと思いますが、お母さんいかがですか?

母親(ひかる):でも、就職ってなるといろんなことができないとだめじゃないですか?スーパーもうまくいかなかったし、いろんなアルバイトも結局すぐに辞めてしまって…この子にできることって、あるんでしょうか?

B 型サビ管(川瀬):私からいいですか?誉さんのいろんなお姿を見てこられたからこそ、ご不安なんですよね…。苦手なことに挑戦するということが必要なきときもあると思いますが、今は誉さんが自信をもって前向きに挑戦できることが大事だと思っています。なので、誉さんが得意なことを活かして、誉さんに合った内容で働き続けることをサポートしていきたいのですが、いかがですか?

母親(ひかる):そうですね…。焦ってもよくないですよ。やっぱり、誉には自信をもって働いてほしいので、それをお願いします。

B 型サビ管(川瀬):ご不安なお気持ちもあるなかで、そう言っていただいてありがとうございます。スマイルでは、いろいろな作業をするなかで得意なことを活かし、苦手なところを見つけてどうしたらいいのか一緒に考えていきたいと思っています。今回のように仕事に行きにくくなったりしたら、誉さんからも相談できるといいなと思います。誉さん、どうですか?

本人(誉):はい…。やってみます。

B 型サビ管(川瀬):ありがとうございます。今日の会議で、こちらが誉さんのご不安をしっかりと聞きできていなかったことを反省しています。これからは、普段の関わりのなかでいろんなお話ができるようにしていきたいと思います。

母親(ひかる):すみません、ありがとうございます。昔から、口数も少ないし自分の気持ちを言えないのでご迷惑をかけると思いますが、よろしく願います。自分のことは言えるようになってほしいです。誉も、ちゃんと自分で言ってよ、分かった？

本人(誉):うん…わかった…

B 型サビ管(川瀬):すみません。もしも、お母さんや誉さんがよければですが、後日以前働いていたときのことをもう少しお聞きしてもよろしいでしょうか？

母親(ひかる):はい。私は大丈夫です。

B 型サビ管(川瀬):ありがとうございます。これからの取り組みを考えるために、以前のお仕事のことをお聞きしたいのですが…。誉さん、いいですか？

本人(誉):はい、大丈夫です。

相談支援専門員(藤山):スマイルさんを休まれたということで心配でしたが、今回このように皆さんと話をし、誉さんのお気持ちも聞いてよかったです。ありがとうございます。この半年でいろんな経験をされて、ホームの友達の影響もありいろんなことを前向きに考えられるようになって、私も嬉しく思います。では、今日の話をもとめると…スマイルさんでは誉さんの得意なことを活かしながら作業内容を絞っていろいろ練習をしていくこと、また想いを伝えやすいように面談という形ではなく普段の関わりのなかで伝えられる方法を見つけていく、という方向だったかと思います。また、ゆのまちハウスさんでは一人暮らしという夢に向かって、家事などの上達を目指していくといった方向でよろしいでしょうか？

全員:大丈夫です。

本人(誉):うなづく

相談支援専門員(藤山):それでは、他に何かある方はおられますか？

全員:特にないように首を振る

相談支援専門員(藤山):ありがとうございます。それではこれで米田誉さんの担当者会議を終わらせていただきます。お疲れさまでした。

本日はありがとうございました。

全員:ありがとうございました。